

今さら聞けない基礎知識 ～ オピオイド使用による依存性 ～

医療用麻薬を使用するとき気になることにあがってくるのが麻薬による中毒。

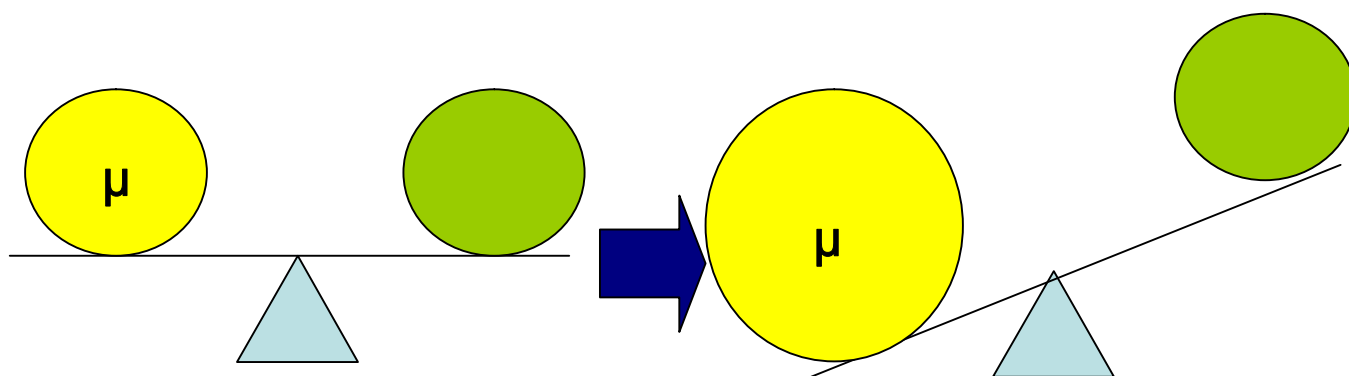
しかし、疼痛患者では麻薬中毒になるようなことはないといわれています。それについて、考えてみましょう。

麻薬中毒とは身体的、精神的依存により日常生活に支障をきたす状態です。

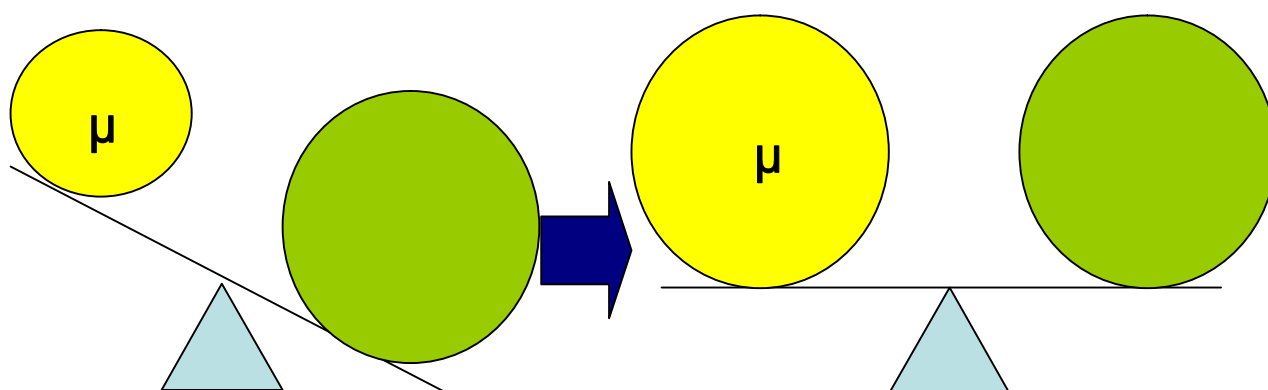
ではなぜこのような状態になるのでしょうか。

慢性疼痛下でない状態では下の図のように μ 神経系と神経系のバランスが取れている状態です。

そこにオピオイドを投与すると μ 神経系が亢進します。それにより μ 神経系と神経系のバランスが崩れ依存が生じます



では次に慢性疼痛下での状態を考えて見ます
慢性疼痛下では 神経系が亢進されています
そこにオピオイドを投与より μ 神経系が亢進しても μ 神経系と
神経系のバランスがとれ依存性は形成がされません



以上のように慢性疼痛下ではオピオイドを使用しても依存性は
形成されません。

参考資料: 治療薬マニュアル2006 医学書院 監修 高久 史磨・矢崎 義雄
処方わかる医療薬理学2004-2005 Gakken
オピオイド治療薬 エルゼピア・ジャパン
癌疼痛治療のレシピ 春秋社 執筆・監修 的場元弘
オピオイドのすべて 株式会社 ミクス